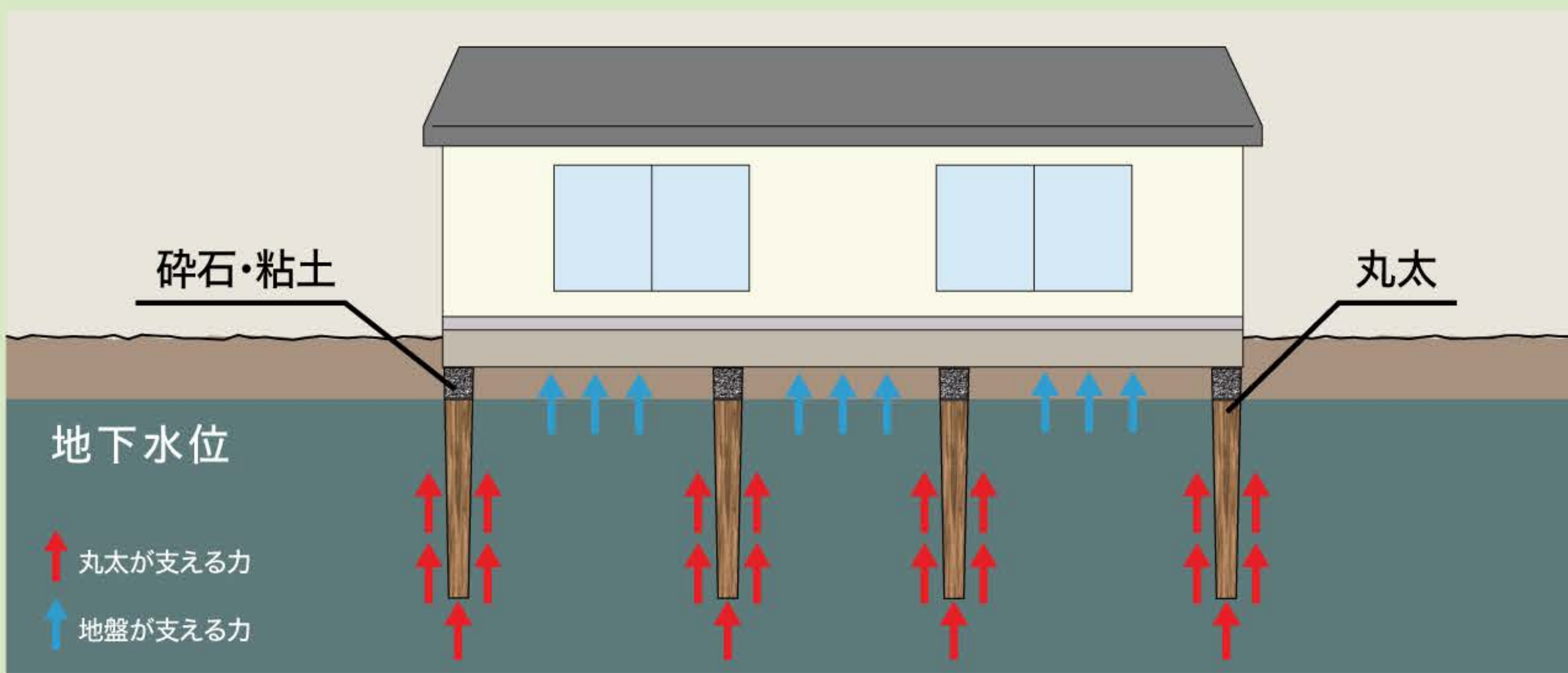


建物を森の力で支える！ LP-SoC工法[®]

丸太打設軟弱地盤対策&カーボンストック工法[®]
Log Piling Method for Soft Ground and Carbon Stock

軟らかい地盤に丸太を均等に並べ、丸太と地盤の力を組み合わせて建物を支えます！

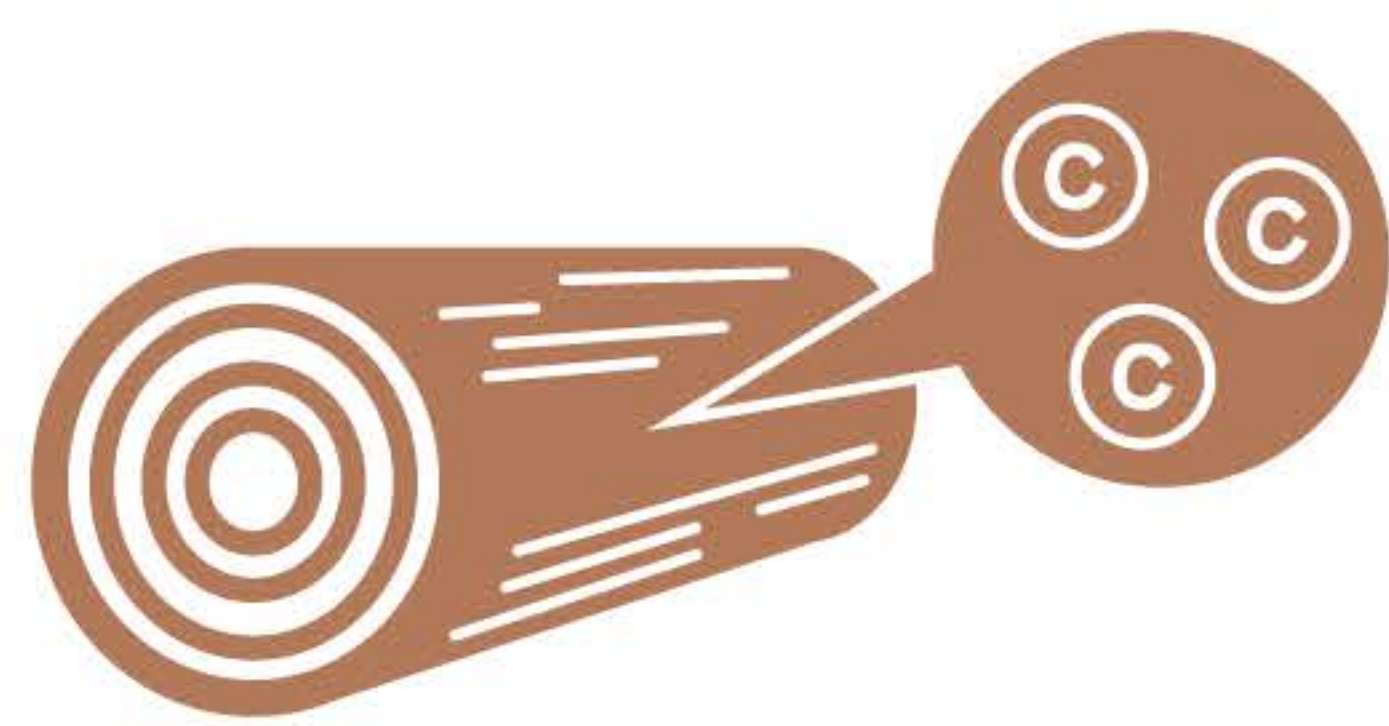


「(一財)日本建築センター」
よりBCJ評価[※])を取得した
信頼性の高い工法です。

※) 評価: 建築基準法等の技術基準に照らし合わせ
性能評価を受けたもの。

工法のメリット

地球温暖化の 緩和に貢献



- ・丸太は二酸化炭素を吸収し炭素を固定化します。
- ・半永久的に炭素を地中に貯蔵できます。

森林資源の 循環利用



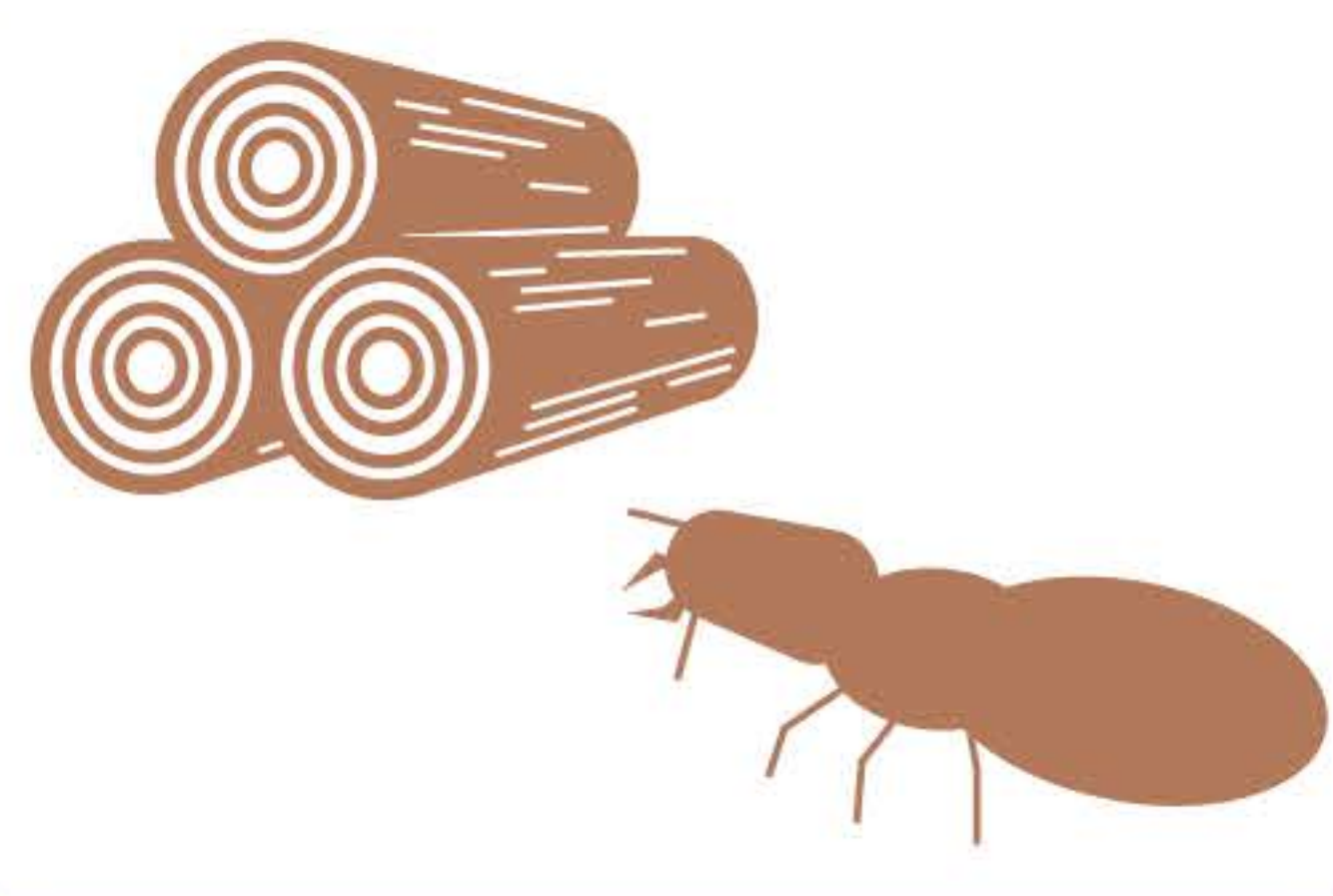
- ・森林資源の循環利用の一部を担います。
- ・林業の活性化に貢献します。

自然素材100%の 材料を使用



- ・丸太、粘土、砕石は全て自然素材を使用しています。
- ・皮をむいただけの丸太は加工時のCO₂排出が小さく環境にやさしい工法です。

シロアリ・腐朽菌の 侵入無し

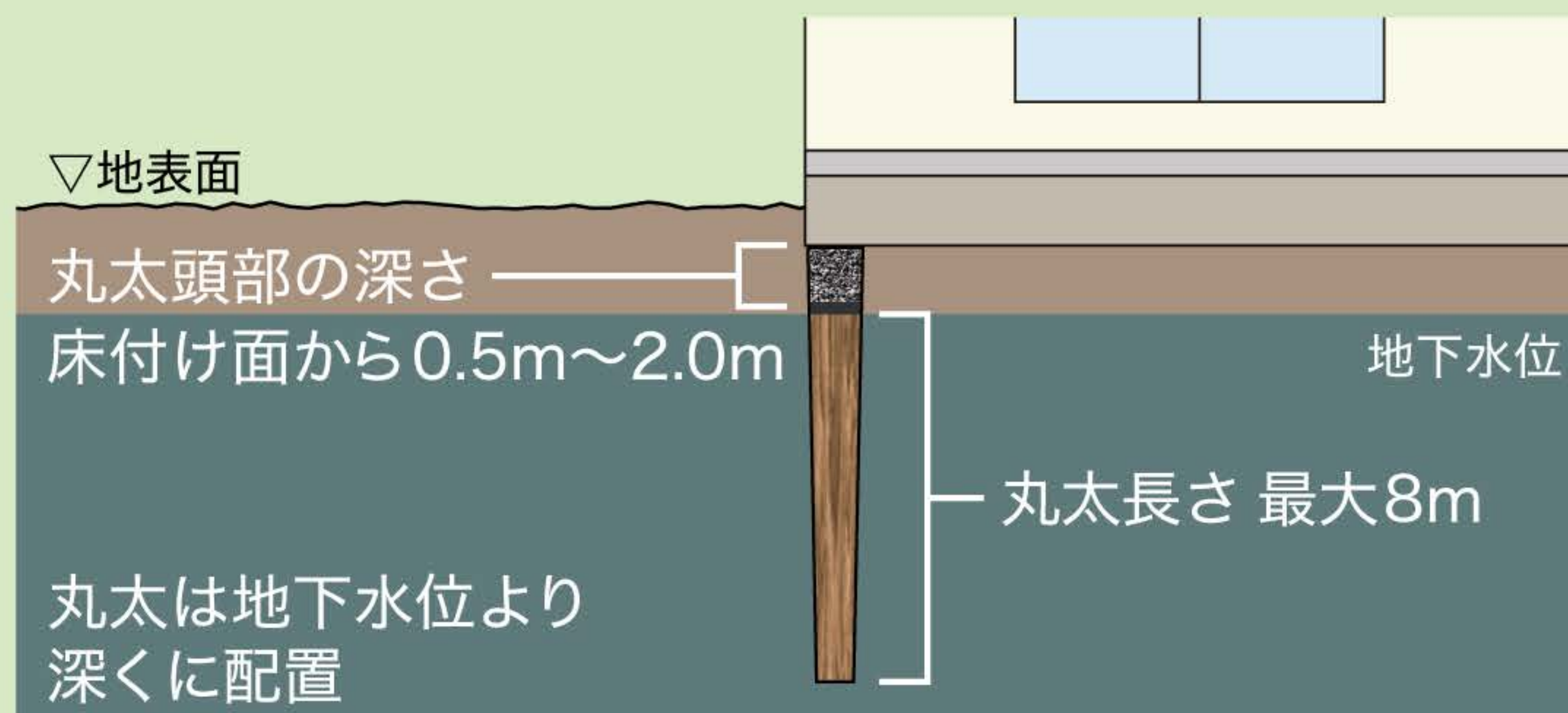
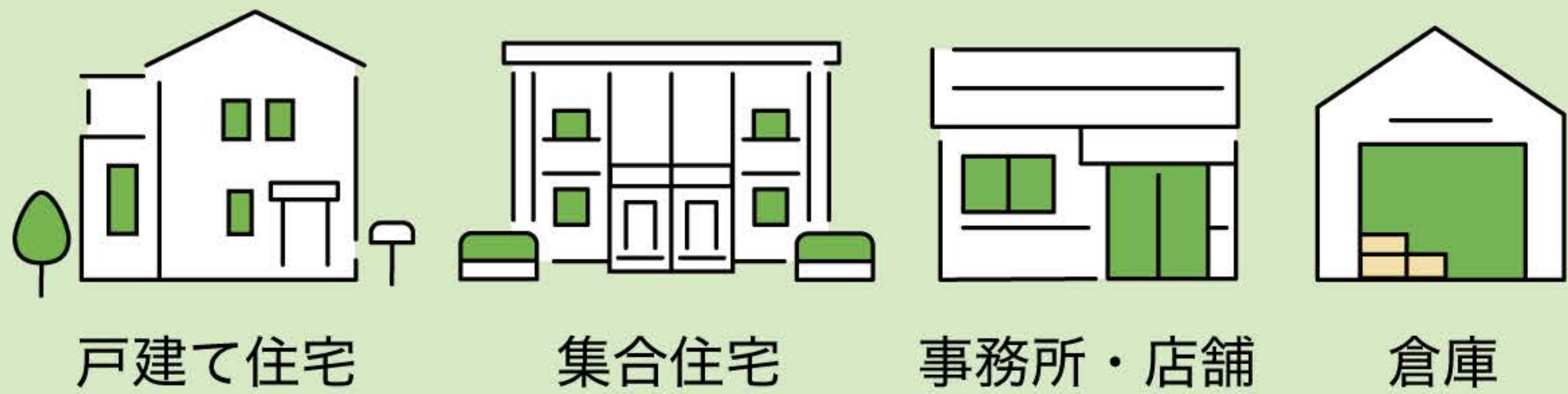


- ・丸太を地下水位より深くまで押し込み、頭部は粘土と砕石で蓋をします。
- ・シロアリや腐朽菌が侵入せず、丸太は腐りません。



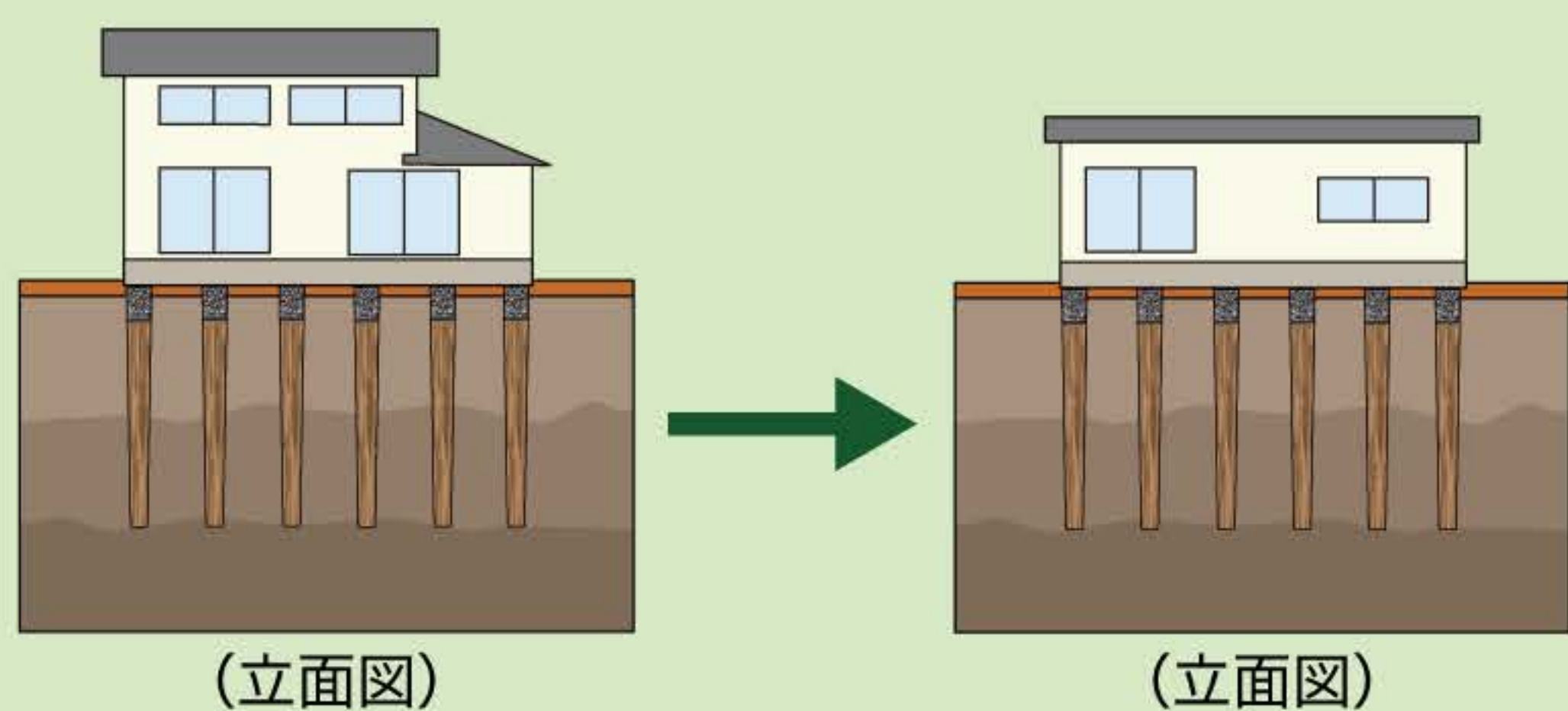
工法の特徴

工法の適用範囲



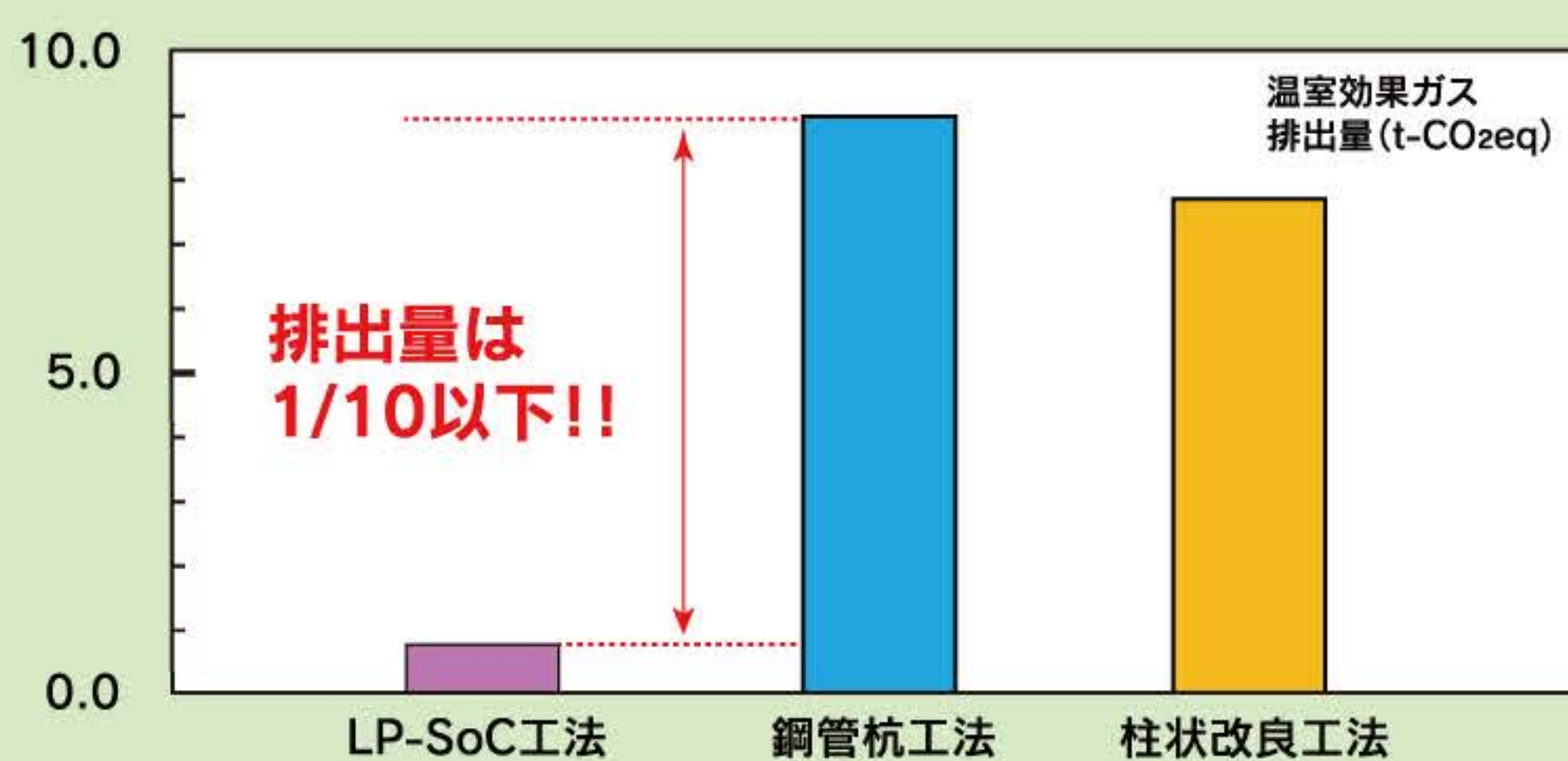
設計面

丸太は等間隔に配置します。
既存の丸太は半永久的に腐らず、再利用できるので、建て替え時に撤去する必要がありません。

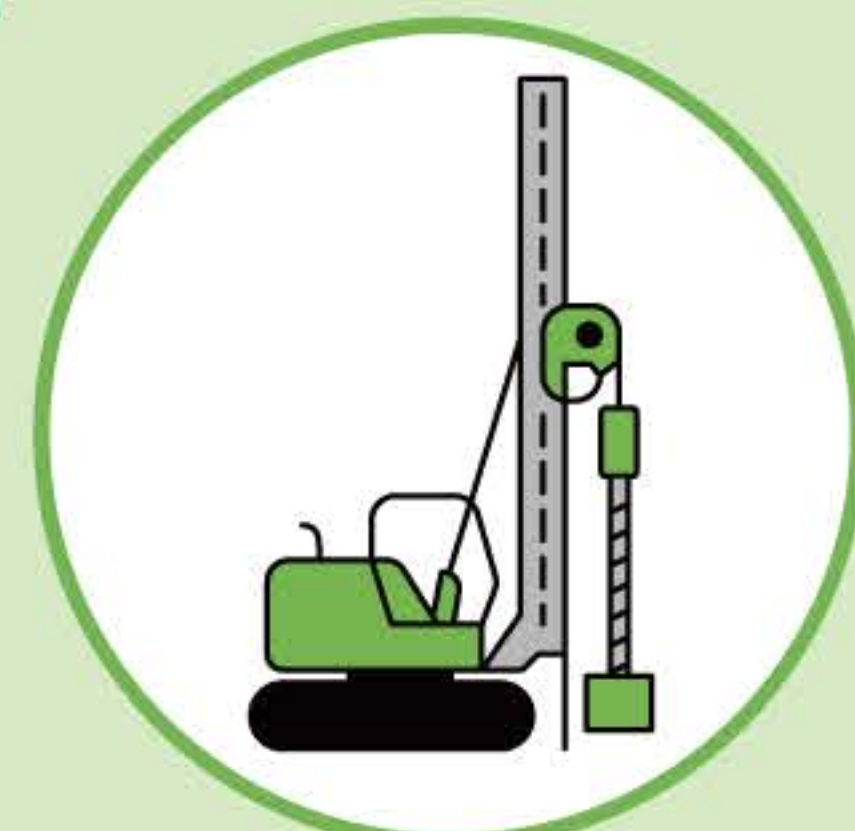


環境面

工事を行う際に排出される温室効果ガスの排出量を鋼材やセメントを用いた工法と比べると、最大で約1/10以下まで抑えることができます。



施工面



小型機械を使用



残土処理が不要



低振動・低騒音

施工方法

①先行掘削

丸太を地中に入れやすくするために先に鋼管を使って孔を掘ります。



②丸太打設

丸太を一定の圧入力で所定の深さまで押し込みます。



③粘土・碎石の投入と締固め

丸太頭部に粘土、その上に碎石を投入し突き固めます。最後に支持力度を確認します。

